

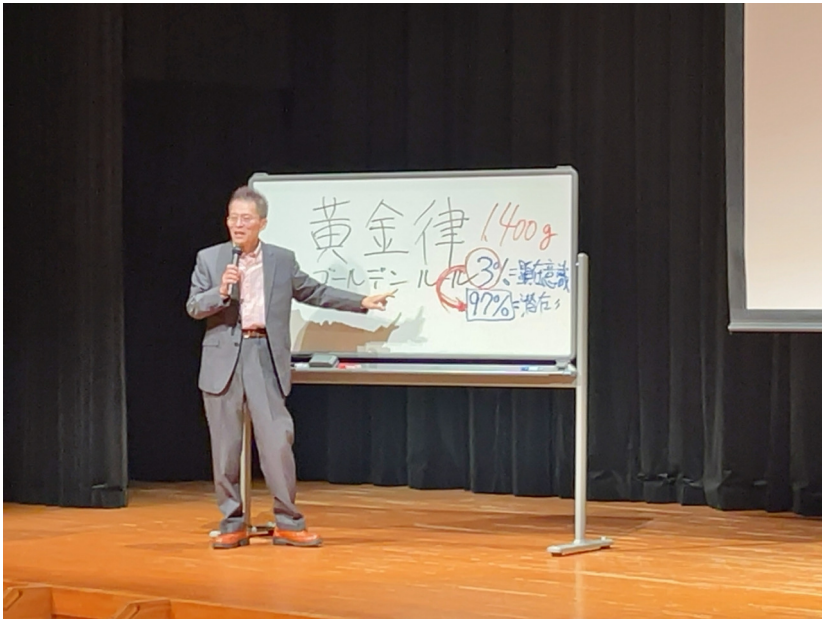
まほらいな市民大学の様子

令和5年11月11日（土）伊那市人権同和教育講演会

## 『大切なのは、いたわり・愛』

### ～多様性社会を自分らしく生きる～ 』

講師 中山まさとも さん（漫才師）



講師の中山まさとも氏の明るく軽快な語りの中に、人としての大切な生き方をいくつも学ぶことができました。固定観念にとらわれず、見聞きしたことから自分なりの判断や考えを持つことの大切さや、差別は自分の考え方や思い次第でなくすことができること。また、自分が嫌だと思うことを他人にしてはならない。他の人に嫌な思いを与えないように言動に注意すること。さらに、脳の重さは約1400gであり、そのうち3%だけが意識して使える顕在意識で、残り97%は潜在意識であること。成功したイメージ（優しさ、正直、情熱、希望、勇気、分かち合う心）をすり込んでいくことで人生を成功へと導いていくものであるということ。最後に、「常に前向きにわくわくした気持ちで、心から叶えたい自分の姿を毎日疑うことなく思い浮かべて、見聞を広げ陰徳を積んで成功をつかんでください！」とまとめられました。

学生からは、「ご病気の奥様思いの優しい人柄が出ている話でした。」「自分の内なる偏見、固定観念を作る脳の仕組みにふれ、自分を変えるのは自分の心の持ち方だと改めて気づきました。」「自分でしてほしいことを人にする。【黄金律】それが思いやりの社会を作ると思った。」「心からなりたい自分の姿をイメージして、前向きに生きていこうと思った。」「といった感想がありました。